

6月に入り梅雨ももう少し。春と梅雨の時期の狭間が一番快適な気がする今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

それでは6月7月の和歌山大学岸和田サテライト新着情報をお送りいたします。
=113回 わだい浪切サロン「地域の資源を活用して行う認知症予防活動の成果と現状」=
近い将来認知症やその予備軍は日本だけで700万人にもなるとされています。
今回は、認知症予防に必要な知識をお伝えするとともに、貝塚市内で実施している「つげさん認知症予防プロジェクト」の取り組みを分かりやすくお伝えしたいと思います。
話題提供者は、大阪河崎リハビリテーション大学 理学療法学専攻助教の今岡 真和さんです。

日時 2019(令和元)年6月19日水曜日 19時～20時30分
場所 岸和田市立浪切ホール 1階多目的ホール

【申込不要 参加費無料】

ちなみに、この「つげさん認知症予防プログラム」の「つげさん」とは岸和田市のお隣の貝塚市の伝統工芸品「つげ櫛」をモチーフにしたイメージキャラクターことです。
「つげさんのおうち」という公式サイトも立ち上がっています。

https://www.city.kaizuka.lg.jp/kakuka/toshiseisaku/koryu/menu/tsugesan_page/index.html

続いて、

=第114回 わだい浪切サロン「スモールに地元で生きる」=
いま、政府による地方創生事業が進められる中「〇〇モデル」とも呼ばれる成功事例が各地で蓄積されてきています。それらの中、徳島県で進められてきたサテライトオフィス誘致による過疎地域集落の再生事業は、単に人口移動や集落再生とittedだけではなく、都市と農村の新たな関係に基づく集落の担い手創造という側面を持っています。また、取り組みが行政だけではなく、民間から湧き上がってきた取り組みであるという点も特徴的です。徳島県の事例を紹介しつつ、得られた示唆をご紹介します。
講師は当岸和田サテライト代表でCOC+推進室長の和歌山大学経済学部准教授 藤田和史さんです。

日時 2019(令和元)年7月17日水曜日 19時～20時30分
場所 岸和田市立浪切ホール 1階多目的ホール

【申込不要 参加費無料】

藤田先生は、経済地理学の専門家でローカルな地域からの調査・活動を通じてより広い問題・政策課題へとアプローチをされていくことで知られています。
今回の「スモールに地元で生きる」ではどのようなアプローチで地域課題を掘り下げられるのか楽しみですね。

さて、後期の学部開放授業・大学院科目等履修募集要項は7月の公開を予定しています。公開されましたら、和歌山大学岸和田サテライトのホームページやこのメルマガでもお知らせしますので、ふるってご出願・ご申請いただきますようお願いいたします。
今回も盛り沢山でしたが、最後までお読みいただき誠にありがとうございます。
次回もお楽しみに☆

☆和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
TEL/FAX 072-433-0875
e-mail kishiwadastaff@wakayama-u.ac.jp